

科目名	現代中国論	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	區 建英	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-2-330006	国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体的問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること			
授業の目的	この講義は中華人民共和国が辿って来た道を、世界の変化という国際的視野において語る。1949年中華人民共和国は建国以来、国民経済の建設と民主化を進める上で、曲折な路を辿ってきた。冷戦時代には米ソの間に挟まれ、国際の反覇権闘争と国内の経済建設や民主化とのジレンマに陥った。そして冷戦終結に伴って、中国は改革開放を始め、全方位外交を展開し、日本ないし東アジア諸国をはじめ世界のほぼすべての地域と関係改善を進めてきた。また、グローバル化の国際的環境において世界第二経済体へと成長した。しかしその中で、米中の協力が発展している内に、米中摩擦が発生し、日増しに激しくなっている。これは世界経済構造の転換に関わる重大なことである。この流れを中国の内側と国際的環境の両方から理解するように指導する。 授業は下記の計画で進めるが、授業の状況によって若干変更する場合がある。				
学修到達目標	中華人民共和国の歩みを把握し、現代中国の様々な事象を歴史、伝統、国際関係など複数の視点から捉えて、中国社会を理解することができる。よって、日中の新しい協力関係を模索する知的素養を身に付けられる。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	外国理解と中国理解
第2回	現代中国に関する基礎的知識
第3回	新中国の国際的環境

第4回	冷戦下の中国外交
第5回	冷戦下の中国内政
第6回	改革開放と民主化
第7回	改革開放時代の政治
第8回	冷戦の終結と中国の外交転換
第9回	経済成長：「第一大局」としての東部発展
第10回	経済成長：「第二大局」としての西部開発
第11回	格差問題と改善の模索—「扶貧」「三農問題」への取り組み
第12回	グローバル化時代と中国の新外交
第13回	科学技術の進歩

第14回	米中貿易戦
第15回	世界経済構造の転換との関係
第16回	定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。各回の講義内容に関連する図書資料を自主的に調べて予習する。
【復習】時間・内容	2時間。授業で配布された資料をよく読んで復習する。

成績評価	
評価基準・方法	期末試験の点数（70%）、毎回の授業に提出するコメント（感想、質問等）（20%）、授業参加状況（10%）を合わせて総合的に評価する。
フィードバック方法	学生諸君の毎度のコメントに対し、授業で回答や評論をする。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	ディスカッション、ディベート
教科書/参考書	手作りの授業資料を配布する。 必要な参考書は授業時に知らせる。
受講上の留意点等	講義のメモを取りながらよく思考し、コメントを書くこと。レジュメをよく復習し、授業資料や参考書をよく読んで理解を深めること。
JABEE	